

長崎修学旅行レポート

令和元年 10 月 30 日(水)～11 月 1 日(金)の 3 日間にかけて、長崎方面への修学旅行を実施しました。第三学年 80 名全員が参加し無事に帰ってくる事ができました。

■一日目 (10 月 30 日(水))

一日目は、バス・新幹線で長崎へ移動して、平和学習を行い、学年レクなどを楽しみました。

長崎に到着して平和学習に取り組みました。平和学習では、平和セレモニー・原爆資料館・被爆体験講話を通じて、平和に対する認識を深めるとともに、一人ひとりが平和の構築にどう向き合っていくのかを考えることができました。

その後、ホテルに到着して長崎郷土料理などをおいしくいただき、学年レクを楽しみました。楽しむときは楽しみ、学ぶべきときは学ぶという態度で有意義な一日にすることができました。



▲新幹線での移動の様子



▲平和セレモニーでの千羽鶴の献呈



▲被爆体験講話の様子



▲学年レクの様子

■二日目（10月31日(木)）

二日目は、まず長崎市内で自主研修を行いました。その後、民泊先の西海市へバスで移動して入村式を行い、各民泊先へ向かいました。

自主研修では、事前に長崎市内の観光スポット・歴史遺跡・郷土料理・お土産などを調査して計画を立てて行動しました。現地を目の当たりにすると、興味深い場所やおいしそうなのが多くあり、計画を適宜変更して楽しむことができました。

その後、バスで西海市へ向かい、みかンドームで入村式を行いました。初めは緊張していましたが、民泊先のホストの方が笑顔で迎えてくださり、各民泊先へと移動しました。



▲自主研修の様子(出島ワーフ)



▲入村式の様子



▲自主研修の様子(大浦天主堂)

■三日目（11月1日(金)）

三日目は、各民泊先でそれぞれの活動を体験しました。その後、退村式を行い、名残惜しい長崎をあとにしました。

各民泊先では、みかん狩り、海散策、押し寿司づくり、リースづくりなどを体験しました。お別れの際には、打ち解けた民泊先のホストの方と別れを惜しむ姿がみられました。その後、バスと新幹線で移動して、あいこうか市民ホールの駐車場に到着しました。保護者との三日ぶりの再会で安堵しているようでした。

事後学習では、修学旅行で学んできた「長崎の文化」と「平和」に関するポスターセッションを行う予定です。



▲ホストとお別れの様子



▲ホストとお別れの様子



▲民泊先での活動の様子



▲帰りの新幹線の様子